

令和 3年度予算見積調書(2月補正予算)

課室名：農業支援課
 担当名：新規参入支援担当
 内線：4052

(単位：千円)

| 番号 | 事業名 | | | 会計 | 款 | 項 | 目 | 説明事業 | |
|---|-------------------|------|----|--|--------|-----|--------------|-------------------------|----------------------|
| B23 | 明日の農業担い手育成塾推進事業 | | | 一般会計 | 農林水産業費 | 農業費 | 農業経営普及費 | 農業後継者育成対策費 | |
| 事業期間 | 令和 3年度～ 令和 7年度 | 根拠法令 | なし | | | | 宣言項目 分野施策 | 040936 農業の担い手育成と生産基盤の強化 | SDGsゴール SDGsターゲット |
| 1 事業の概要 新規就農希望者の円滑な就農を促進するため、就農相談窓口の設置や担い手入門研修及び明日の農業担い手育成塾の設置運営等を支援する。 (1) 就農相談窓口整備推進事業 △ 43千円 (3) 明日の農業担い手育成塾推進事業 △2,034千円 | | | | 5 事業説明 (1) 事業内容 ア 就農相談窓口整備推進事業 相談窓口設置数 11か所 5,960千円 イ 明日の農業担い手育成塾推進事業 塾設置地域数 24地域 11,470千円 入門研修設置 8地域 (2) 事業計画 ア 就農相談窓口の設置、就農支援セミナー・休日就農相談会の開催 農林振興センター等に就農相談窓口を設置し、新規就農を希望する者の支援を行う。 新規就農を目指す者を対象に、セミナーや相談会を開催する。 イ 明日の農業担い手育成塾及び担い手入門研修の設置 明日の農業担い手育成塾を設置し、就農希望地で実践的な研修を行い就農を支援する。 担い手入門研修を設置し、指導農家の元で農業基礎知識の習得や自己分析を支援する。 (3) 事業効果 新規就農者の確保・育成 新規就農者数 平成27年 286人(8月末集計)、平成28年 291人(8月末集計)、平成29年 300人(8月末集計) 平成30年 310人(8月末集計)、令和元年 321人(8月末集計)、令和2年 330人(計画) 明日の農業担い手育成塾のべ塾生数 平成27年度 32人(3月末集計)、平成28年度 34人(3月末集計)、平成29年度 24人(3月末集計) 平成30年度 32人(3月末集計)、令和元年度 29人(3月末集計)、令和2年度 30人(9月末集計) (4) 補正予算の概要 ア 事業費の節減による減額 イ 補助金要望額減少による減額 | | | | | |
| 2 事業主体及び負担区分 (1)、(2) 事業主体：県、負担区分：(県10/10) (3) 事業主体：事業者、負担区分：(県3/4)事業者1/4 | | | | | | | | | |
| 3 地方財政措置の状況 普通交付税(単位費用) (区分) 農業行政費(細目) 活性化推進特例費 (細節) 活性化推進特例費 特別交付税措置(移住・定住に要する経費) | | | | | | | | | |
| 4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 9,500千円×5.3人=50,350千円 | | | | | | | | | |
| 予算額 | | | | 財源内訳 | | | | 一般財源 | 補正後の 予算額 |
| 決定額 | △2,077 | | | | | | | △2,077 | 17,430 |
| 現計額 | 19,507 | | | | | | | 19,507 | |